

Innovative Environmental Technology Symposium 2024

革新的環境技術シンポジウム2024

～2050年カーボンニュートラルを支えるイノベーション～

2024年12月3日 火 13:00～17:30 (受付開始 12:30)

イノホールおよび Web 配信(ハイブリッド開催) **入場無料**

主催：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

後援(予定)：経済産業省、公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 化学工学会、公益社団法人 日本農芸化学会、
一般社団法人 エネルギー・資源学会、一般社団法人 日本エネルギー学会、
公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会

SCOPE

昨年のCOP28では、いわゆるパリ協定の目的達成に向けた世界全体の進捗を評価するグローバル・ストックテイク(GST)に関する決定が採択され、世界では2050年カーボンニュートラルに向けた排出削減と経済成長・産業競争力強化を両立していくため、様々なエネルギー・温暖化対策が採られています。こうした中、わが国でも、本年5月に「二酸化炭素の貯留事業に関する法律」(CCS事業法)が成立し、日本におけるCCSの社会実装に向けた大きな転換点となるなど、地球温暖化対策技術の研究開発と実用化への期待は一層高まっているといえましょう。

当機構は設立以来、このような抜本的なCO₂削減を実現するための革新的エネルギー・環境技術の研究開発を推進するとともに、地球温暖化対策シナリオを作成して政策提言につなげてまいりました。温室効果ガスを大幅削減するためにはイノベーションの創出が不可欠であるため、本シンポジウムでは、国際的な温暖化対策の情勢を踏まえながら、全グループの最新の研究成果をご報告いたします。

プログラム

12:30	受付開始	
13:00 ~ 13:05	開会挨拶	理事長 山地 憲治
13:05 ~ 13:40	招待講演	今後の GX 政策について 経済産業省 大臣官房審議官(GX グループ担当) 田尻 貴裕
13:40 ~ 14:15	講演 1	国内外のエネルギー・気候変動対策の展望 システム研究グループリーダー 秋元 圭吾
14:15 ~ 14:55	基調講演	GX における大阪・関西万博の役割と、RITE の貢献 理事・研究所長 下田 吉之
14:55 ~ 15:25	休憩	ポスターセッションを Room A で開催
15:25 ~ 16:05	講演 2	バイオエコノミー社会の実現を目指したバイオものづくり技術の開発 バイオ研究グループリーダー 乾 将行
16:05 ~ 16:45	講演 3	CO ₂ 分離回収技術の社会実装に向けて —最近の動向と RITE の取り組み— 化学研究グループリーダー 余語 克則
16:45 ~ 17:25	講演 4	CO ₂ 地中貯留技術の実用化へ —技術実証&知見蓄積— CO ₂ 貯留研究グループリーダー 薛 自求
17:25 ~ 17:30	閉会挨拶	専務理事 本庄 孝志

ポスターセッション

12:30 ~ 16:00 まで、4 階 Room A にてご自由にポスターをご覧いただけます。説明員もおりますので、お気軽にご質問ください。

アクセス

イノホール & カンファレンスセンター

- 東京メトロ日比谷線「霞ヶ関」駅 C4 出口直結
- 東京メトロ丸の内線「霞ヶ関」駅 B2 出口徒歩 5 分
- 東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅 9 番出口徒歩 3 分
- 東京メトロ有楽町線「桜田門」駅 5 番出口徒歩 10 分
- JR 山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線
都営地下 鉄浅草線、ゆりかもめ「新橋」駅徒歩 10 分
- 都営地下鉄三田線「内幸町」駅 A7 出口徒歩 3 分

お申し込み

RITE ウェブサイト

<https://www.rite.or.jp>

よりお申し込みください。

申込締切：定員になり次第

締め切らせていただきます。

